

女子高校野球に新たな歴史的 1 ページ 阪神甲子園球場で決勝戦を実施

史上最多の 40 チームが出場した第 25 回全国高等学校女子硬式野球選手権大会は、“女子高校野球の聖地” 丹波市で 7 月 24 日に開幕し、8 月 1 日の準決勝まで熱戦を繰り広げました。

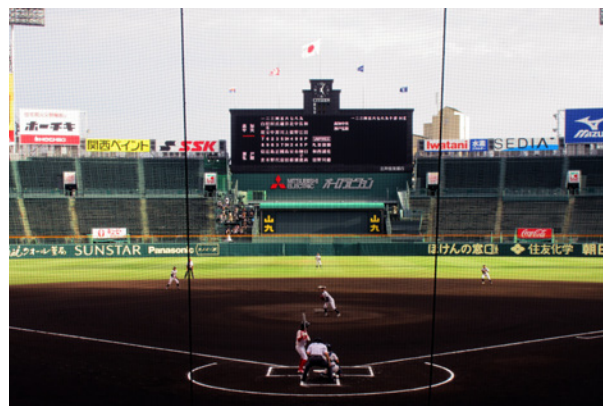
決勝に進んだ神戸弘陵学園高校（兵庫県）と高知中央高校（高知県）の 2 校が、初となる“高校野球の聖地” 阪神甲子園球場で歴史的な一戦に臨みました。

阪神甲子園球場は、雨天で男子の全国高等学校野球選手権大会の日程順延が相次ぎましたが、8 月 23 日に行われた決勝戦では、最後まで白熱した試合となり、神戸弘陵学園高校が高知中央高校を 4 対 0 で破って、5 年ぶり 2 度目の優勝を飾りました。

全国高等学校女子硬式野球選手権大会は平成 9 年に東京都福生市で第 1 回大会が開催されてから、平成 16 年の第 8 回大会からは市島地域などで開催し、25 回目を迎えました。四半世紀を経て「女子高校野球選手も甲子園で」という選手や関係者らの長年の願いがついに実現し、女子高校野球に新たな歴史が刻まれました。



大会日程が掲示された阪神甲子園球場



阪神甲子園球場での第 1 球目

高校生による丹波の未来への架け橋プロジェクト 市民参加で丹波市をもっと有名に！



趣意書を林市長に手渡す谷垣香澄さん（中央）と稲川詩音さん（右）

市内の高校 3 校合同による「集まれ！スイーツ好き 世界一のモンブランをつくろう」プロジェクト事業。多くの市民参加を目指し、9 月 3 日、代表の 2 人が市長を訪問し、12 月 19 日（日）のオンライン開催に向けて現状の課題を報告し、広報など市に協力を求めました。

訪問した 2 人は「市長に協力すると言ってもらえたことで実感が湧いてきました。さらに計画を具体化して頑張ります」と意気込みました。

水分けフィールドミュージアム企画展 高校生手作りの水族館が登場

水分けフィールドミュージアムで 9 月 30 日まで、氷上西高校生の生徒が企画した「水族館」の展示を行っています。生徒自らが市内の川で採集したドジョウやナマズを水槽に入れて展示しているほか、イシガメなどに触れることができるコーナーもあります。

来館者は「住んでいる近くの川に、こんな魚がいるのは知らなかった。びっくり。また探してみたい。」と興奮した様子で話しました。



水槽の魚を観察する来館者

親子でつくろう！わが家の避難計画 ワークショップを開催しました



ワークショップで作成した避難計画を持つ参加者

8月14・15日に、親子で丹波市防災マップを活用し、避難計画をつくるワークショップを開催しました。丹波市防災会の防災士と一緒に防災マップの見方や避難方法、日頃の備えについて話し合い、避難計画を作成しました。

参加者は、「もし災害が発生した時、どうするかについて家族で話し合うことができた」と災害時の行動や約束事を共有、確認する機会となりました。

地域の子どもたちに夏の思い出を 旧遠阪小でお化け屋敷を実施

8月7日、旧遠阪小学校で氷上西高校の生徒が企画したお化け屋敷とゲーム会が行われました。校舎を広く使ったお化け屋敷は、音楽室の前を通るとピアノを鳴らすなど、様々な手法で恐怖を演出したほか、教室にあるぬいぐるみを取ってくるというミッションもあり、飽きさせない工夫がなされていました。

参加者は「暗くて怖かったけど、優しいお化けも居て面白かった。また挑戦したい」と話しました。



懐中電灯をしっかりと握ってお化け屋敷を体験する参加者



上：株式会社山茂のみなさん
下：キュウリの苗を植える西田さん（写真左）と岡田さん（写真中央）
右：2人が栽培、収穫したオクラ



農の学校通信

【卒業生の就農状況 編】

農業会社「山茂」では、今年3月に農の学校を卒業した西田瑠衣さん、岡田優里花さんの2人を雇用し、野菜や水稻、果樹の栽培など計13ヘクタールの農地を作付けしています。

2人が農の学校在学中、栗園のアルバイトに来ていたことをきっかけに就職を提案。社長は「農の学校で学んだ、無農薬栽培の技術を存分に生かしてもらってます。今では私が農業のことで指示されてますよ」とほほえむ。細かなところまで見てくれる2人が来てくれたことで水稻の見回りなども充実し、今年は作物が良くできているとのこと。

西田さん、岡田さんは「野菜に関することは全て任せてもらい、色々なことに挑戦させてもらっているが、課題もあり、日々勉強です」と口をそろえます。社長は「あの2人が作った野菜が話題になって買いに来てくれるようになれば」と2人のさらなる活躍に期待を寄せました。